

図書コード・書名		637	おおきくなったら		K04	ぐりとぐらの1ねんかん	
発行者・著者		小学館	木村裕一 長野ヒデ子		福音館書店	なかがわりえこ やまわきゆりこ	
判型・ページ数・価格		16×16cm	10ページ	715円	27×31cm	28ページ	1,430円
採 択 基 準	基 本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	人間も含めたすべての動植物が時間の経過により変化することであることが感じられ、理科の学習に関心をもつきっかけとなりうる。		見開き2ページで1か月ずつ進んでいき、1年間の気候や景色の変化を感じることができる。 関連教科 (国語)			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	A 段階		A・B 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	3語文程度の短い文なら理解できる、という児童生徒に合っている。		季節が変化していく雰囲気を抒情的な面も含めて表現された内容ではあるが、ほとんどひらがなで書かれているので、漢字を理解している児童・生徒には簡単な文章である。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	身近な草木や虫などの生物に親しみを感じるきっかけになりうる。		ぐりとぐらの様子から1年間の生活や行事の変化を感じ取ることができる。			
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	絵本が伸びてページの中に格納されたページが出てくる仕掛けになっており、どんなイラストが出てくるか楽しみで紙芝居を見るような面白さがある。		絵本に登場する擬人化された動物たちが様々な活動を行っており、行動や会話などを想像したり思考することができる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	くり返し活用したり、絵本にない生物を考え想像するなど、多方面からのアプローチにより発展性をもたせて考えることができる。		各月の自然や行事などへの話題へ発展しやすい内容である。			
	(2) 全体の分量	一時間の授業で読み終われる分量である。		この本単独では内容が少ない印象があるが、他の教材と組み合わせて学習の導入に使用するにはちょうど良い分量である。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	すべてひらがなで3語文程度で書かれている。字は大きい。		日・本・字などは漢字表記だが(ルビが振られており)、先生・学校・雨・赤などはひらがな表記である。絵も季節感を感じられる。			
	(2) 図表、写真等の資料	使われていない。		使われていない。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	明るくかわいい絵柄である。		簡潔でわかりやすい。温かみのある色調で親しみやすい。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	本文は黒一色の太字で24ポイント行間4mm。大きくはっきり書いてある。文字数も少なく、ひらがなを読み始めの発達段階でも読める。		本文24ポイント、行間7mm、字間はゆったりしている。			
	(3) 用紙、製本、表紙	合成製本であり、用紙は3mmの厚紙を使用している。表紙は3mmの厚紙を使用している。		上製本・ミシン綴じ。ソフトカバーがかかっている。			
備 考 (発 行 年)				(H24)		(H9)	

主要教科 [理科]

図書コード・書名		521	講談社の動く図鑑 MOVE大自然のふしぎ	517	100円ショップで わくわく科学実験		
発行者・著者		講談社	編：講談社 監：長沼毅	いかだ社	青野裕幸		
判型・ページ数・価格		22×26.5cm	128ページ	2,090円	18.5×25.5cm	64ページ	1,540円
採 択 基 準	基本 観 点						
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	日常では触れたり感じたりすることがしにくい宇宙・極地・気象等の自然現象や、密林・絶海等での生態系などを紹介しており理科に関心をもつきっかけとなりうる。		身近な材料を使用した実験を通して、理科に興味をもつきっかけとなりうる。			
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	B・C・D 段階		C・D 段階			
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	写真や映像を見て楽しみ、自然などに興味を抱き学習することができる。多様な発達段階の児童生徒にも活用できるように工夫されている。		絵や写真などから実験の内容を見ても理解が難しい場合は、指導者と一緒に実験を行う必要がある。			
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	生活経験とすぐに結びつく部分は少ないが、自然科学の雄大さに興味を惹かれる面白さがある。文章は細かい字だが、すべてルビが振ってあり読みやすい。		科学的な実験を身近な生活用品を使用して簡単に行えることから、実験の親しみやすさや行いやすさを感じられる。			
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	我々が生存している地球や宇宙が、ダイナミック・神秘的・不思議、といった感動にあふれるものであり、リアルな現象に対して好奇心やロマンを持つ感情を育むことができる。		実験を自分で用意し、行うまでの間に多くの知的・作業的な学習活動ができる。そしてその実験から様々な感情や気付きをもつことができる。			
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	系統的には地学と生物の分野に関する内容がほとんどである。その中では多様な話題にあふれており他の教材も併用するなどして発展性は充分ある。		比較的簡単に行える実験が多く、より高度な実験を行うことに意欲や関心を発展させていける。また物理・化学・生物・地学の4分野それぞれに章がわかれていて分野のバランスもとれている。			
	(2) 全体の分量	年間を通して利用できるボリュームである。		年間を通して利用できる分量である。			
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	小学校中学年程度の力があれば理解できる。写真やイラストも多くわかりやすいが文字はやや小さめである。		小学校中学年程度の力があれば理解できる。写真やイラストも多くわかりやすいが文字はやや小さめである。			
	(2) 図表、写真等の資料	写真が多く使われている。DVDもついでいて動画を視聴してわかりやすく学習できるようになっている。		わかりやすくふんだんに使われている。			
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	写真が多く使われていてたくさんの情報量がある。		鮮明でよい。			
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	すべての漢字にルビが振ってあるので行間の狭さは感じられないが字は細かい。背景の色によってフォントが白と黒の半々くらいになっている。		本文11ポイント見出し50ポイントで書かれている。字間がやや狭い印象を受けるが、さほど極端なことではない。すべての漢字にルビが振ってあるので行間の狭さは感じられない。			
	(3) 用紙、製本、表紙	多色刷りの表紙カバー付きである。表紙は厚紙を使用しており、上製本のため耐久性に優れている。		表紙は厚紙を使用している。用紙は厚手の紙を使用している。ソフトカバーがかかっている。			
備 考 (発 行 年)				(H24)	(H27)		

図書コード・書名		529	いちばんやさしい 天気と気象の事典	
発行者・著者		永岡書店	武田康男	
判型・ページ数・価格		15×21cm	128ページ	935円
採 択 基 準	基 本 観 点			
1 学習指導要領に示す目標に沿い、その内容を適切に取り上げていること。	(1) 教科の目標達成に必要な内容	天気や気象にかかわる基本的な現象の発生するメカニズムや専門的な用語の解説などが体系的に細かく記載されている。		
2 内容の程度が、児童生徒の発達段階に適切していること。	(1) 発達段階のめやす(注1)	D 段階		
	(2) 障害の状態、発達段階及び特性などへの配慮	小学校高学年以上で学習する漢字にはルビが振ってあるが、ルビが振っていない漢字も多く、字も細かい。文章の量も多い。天気に強い関心があり文章を読解する力が高い児童生徒に向いている。		
3 内容の選択及び扱いが、学習指導を進める上で適切であること。	(1) 生活経験や興味・関心への配慮	身近な気象現象について詳しく書かれているので、気象に興味をもつきっかけとなりうる。しかし、内容を理解するには小学校高学年程度の読解力が必要と思われる。		
	(2) 主体性や創造性思考力、判断力、表現力等の育成	論理的に詳しく書かれているので、他教材で創造や思考したものを、この本を使って真実を確かめるといった活用法が有効であると思われる。		
4 内容の構成・配列・分量が、学習指導を有効に進める上で適切であること。	(1) 系統性・発展性	興味を持てるところや理解しやすいところから始めてもよい。話題が豊富で多岐にわたるため、様々な事象を理解することへの発展性はある。		
	(2) 全体の分量	情報量・文章量はかなり多い。見開き2ページで一つの話題となっているが、それを読んで全体を理解するには時間が必要である。		
5 表記・表現が正確かつ適切であること。	(1) 文字、文章、挿絵	字は細かく文章量も多い。写真や図もたくさん掲載されていて情報が盛りだくさんである。		
	(2) 図表、写真等の資料	ふんだんに使われている。		
6 体裁や造本が適切であること。	(1) 色使い、ページレイアウトなど	一つの話題がうまく2ページにまとめられている。		
	(2) 文字の大きさ、字間、行間	見出しは30ポイント、本文は10ポイントで書かれている。		
	(3) 用紙、製本、表紙	ソフトカバーがかかっている。		
備 考 (発 行 年)		(H30)		